



株式会社 **ニコン**
広報・IR部

2012年3月期 決算説明会

2012年5月10日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

タイ洪水の影響



【ニコンタイランド社の操業停止、復旧の経緯】

- ・2011年10月 6日：洪水被害を受け、ニコンタイランド社の操業を停止
- ・2011年11月30日：タイ国内の協力工場での代替生産により、一眼レフと交換レンズの一部機種の出荷を開始
- ・2012年 1月 3日：ニコンタイランド社の一部操業を再開
- ・1月～3月：協力工場での代替生産に加えてニコンタイランド社における生産を拡大
- ・2012年3月末には、計画どおり通常の生産量に回復(協力工場含む)

【生産設備更新・建屋補修等による設備投資額】

- ・総額 約260億円
 - 2012年3月期の計上額 約130億円
 - 2013年3月期の見込額 約130億円

【タイ洪水に起因する特別利益・特別損失】

- ・2012年3月期の計上額
 - 特別利益 159億円 (保険金収入)
 - 特別損失 125億円 (固定資産減損、棚卸廃棄、休業補償など)
- ・2013年3月期の見込額
 - 特別利益 70億円 (保険金収入)

Agenda

I . 2012年3月期の概況

II . 2013年3月期の見通し

III . 参考データ

2012年3月期 ポイント



◆タイ洪水による映像事業の前年比減収・減益を、精機事業の増収・大幅増益でカバーし、会社全体では微増収、各利益は大幅増

【精機】

半導体露光装置は競争力が向上、液晶露光装置は約5割の販売台数増加。収益構造改善の進展もあり、前年比 19%増収、営業利益は約5倍

【映像】

上期は全ての製品群で好調。下期は一眼レフがタイ洪水の影響を受けたが、新製品のNikon 1の販売は好調。コンパクトは通年でシェアを拡大。前年比の減収・減益幅は最小限にとどめた

【インストルメンツ】

公共予算の延期・縮小、半導体・電子部品向け設備投資抑制の影響を受け、前年比微減収、営業赤字幅は縮小

◆主な特別利益・特別損失

【特別利益】 159億円(タイ洪水起因の保険金収入)

【特別損失】 125億円(タイ洪水による固定資産減損等)

65億円(インストルメンツ事業の「のれん減損」)

◆期末配当金は21円、年間配当金は38円(19円増配)

2012年3月期 連結売上高・損益

株式会社ニコン
広報・IR部



単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/3)	上期 下期	12年3月期 実績	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比
売上高	8,875	$\frac{3,980}{4,895}$	9,250	$\frac{4,863}{4,387}$	9,187	$\frac{4,863}{4,324}$	+312	▲63
営業利益 売上高比	541 6.1%	$\frac{152}{389}$	720 7.8%	$\frac{612}{108}$	801 8.7%	$\frac{612}{189}$	+260	+81
経常利益 売上高比	558 6.3%	$\frac{178}{380}$	800 8.6%	$\frac{652}{148}$	894 9.7%	$\frac{652}{242}$	+336	+94
当期純利益 売上高比	273 3.1%	$\frac{106}{167}$	550 5.9%	$\frac{504}{46}$	593 6.5%	$\frac{504}{89}$	+320	+43
FCF	1,000		300		▲341		▲1,341	▲641
為替 ドル	86円	$\frac{89円}{82円}$	78円	$\frac{80円}{76円}$	79円	$\frac{80円}{78円}$	売上高への影響 ▲393	+84
ユーロ	113円	$\frac{114円}{112円}$	108円	$\frac{114円}{102円}$	109円	$\frac{114円}{104円}$	営業利益への影響 ▲125	+18

円高とタイ洪水の影響を吸収して、前年比増収・増益。前回予想比では、売上高は未達となったものの各利益は上振れ

* 前回予想とは2012年2月3日発表における予想です。スライドで使用している数値はすべて億円未満は四捨五入してあります。

2012年3月期 精機カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



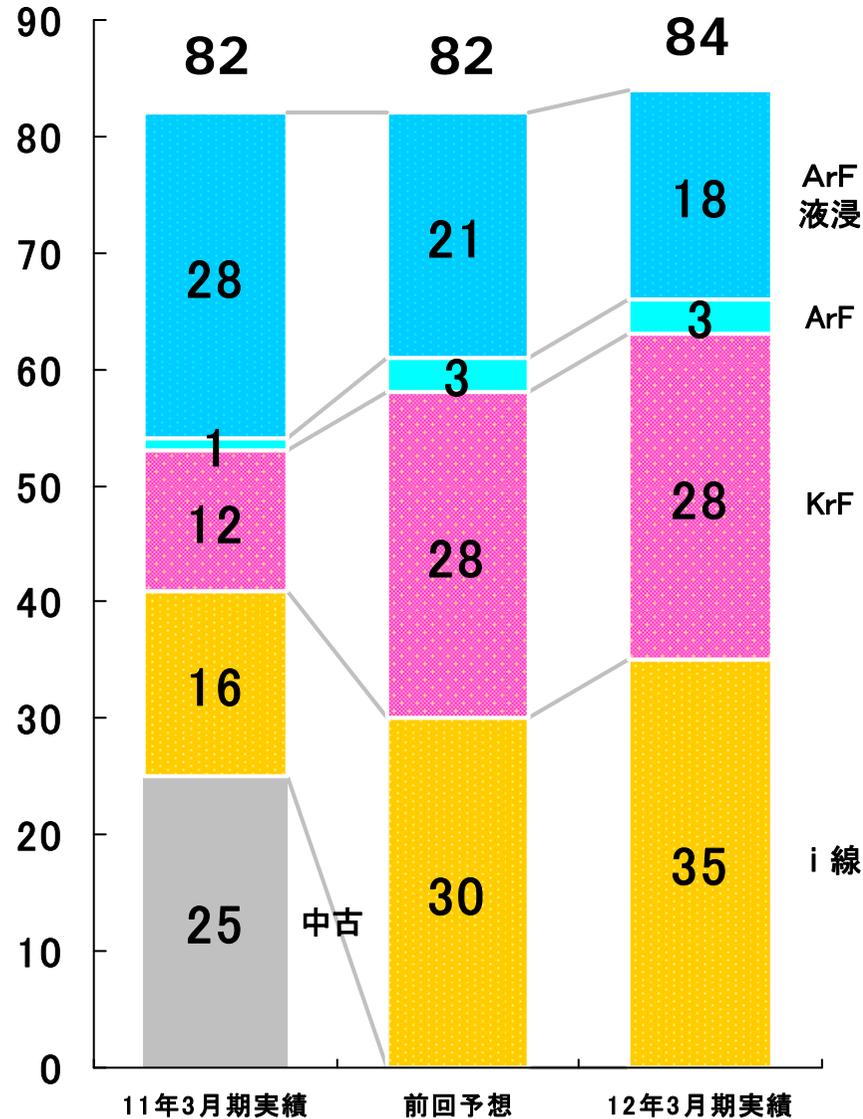
単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/3)	上期 下期	12年3月期 実績	上期 下期
売上高	2,086	$\frac{807}{1,279}$	2,600	$\frac{1,248}{1,352}$	2,481	$\frac{1,248}{1,233}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	27(83) 1.3% (4.0%)	$\frac{\Delta 47}{74} (\frac{\Delta 20}{103})$	370 14.2%	$\frac{233}{137}$	427 17.2%	$\frac{233}{194}$
半導体露光装置 新品/中古	57/25台	$\frac{18/12}{39/13}$	57/25台	$\frac{26/16}{31/9}$	55/29台	$\frac{26/16}{29/13}$
液晶露光装置	57台	$\frac{23}{34}$	85台	$\frac{48}{37}$	86台	$\frac{48}{38}$
半導体露光装置 市場規模 CY10/11	228台		311台		311台	
液晶露光装置 市場規模 CY10/11	112台		109台		109台	

半導体用は、ArF液浸スキャナーのセールスマックスが競争力の高い「S620D」にシフト。
液晶用では、中小型高精細パネル向けの需要拡大を捉え、販売台数は前年比大幅増

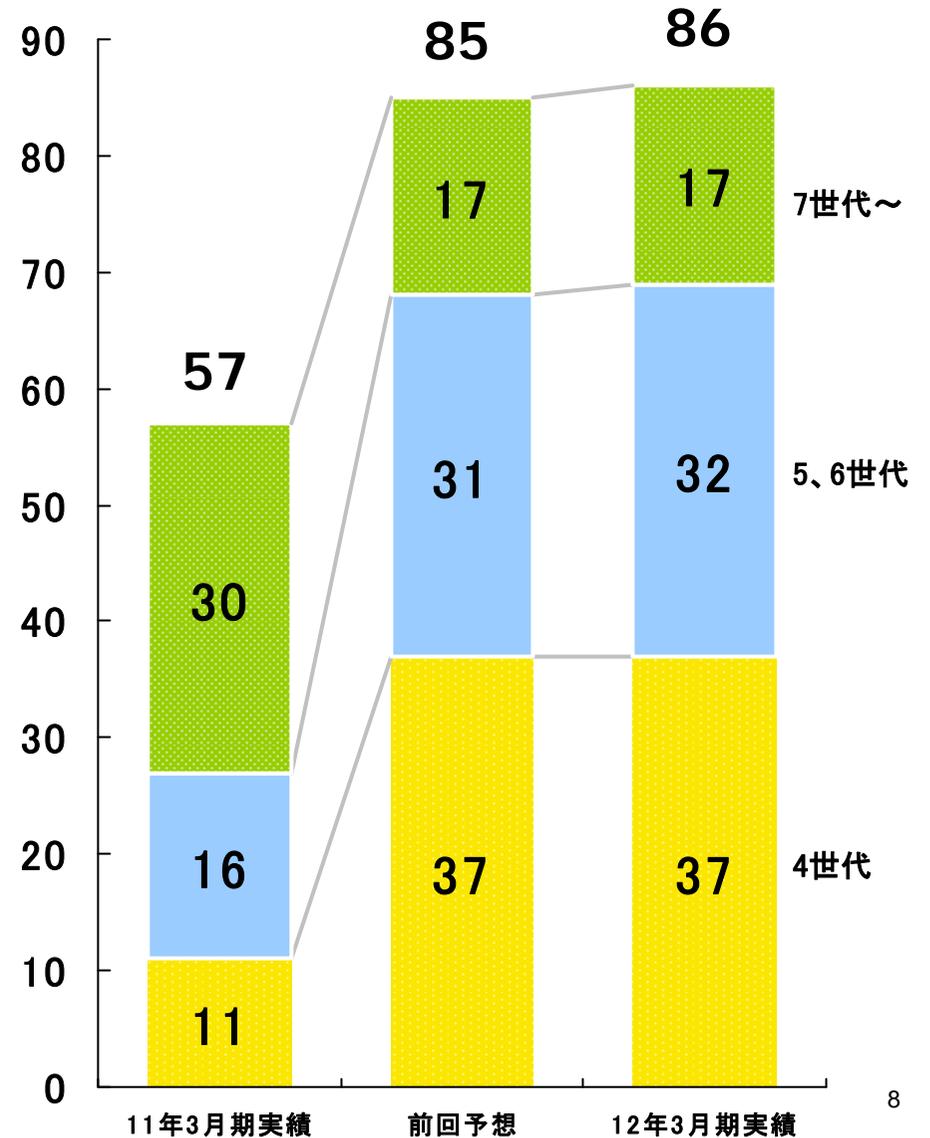
2012年3月期 精機カンパニー

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



単位:台



2012年3月期 映像カンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/3)	上期 下期	12年3月期 実績	上期 下期
売上高	5,964	$\frac{2,818}{3,146}$	5,850	$\frac{3,245}{2,605}$	5,871	$\frac{3,245}{2,626}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	523(614) 8.8% (10.3%)	$\frac{223}{300}$ ($\frac{269}{345}$)	520 8.9%	$\frac{474}{46}$	540 9.2%	$\frac{474}{66}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	429万台	$\frac{190}{239}$	470万台	$\frac{273}{197}$	474万台	$\frac{273}{201}$
交換レンズ	636万本	$\frac{295}{341}$	690万本	$\frac{393}{297}$	713万本	$\frac{393}{320}$
コンパクト デジタルカメラ	1,426万台	$\frac{670}{756}$	1,700万台	$\frac{786}{914}$	1,737万台	$\frac{786}{951}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,414万台		1,500万台		1,633万台	
交換レンズ 市場規模	2,327万本		2,500万本		2,641万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	10,741万台		10,000万台		9,933万台	

一眼レフはタイ洪水の影響を大きく受けたが、Nikon 1 の販売好調でレンズ交換式カメラは前年比1割増。コンパクトは競争力が高まり、市場が縮小するなかで2割以上の販売台数増 9

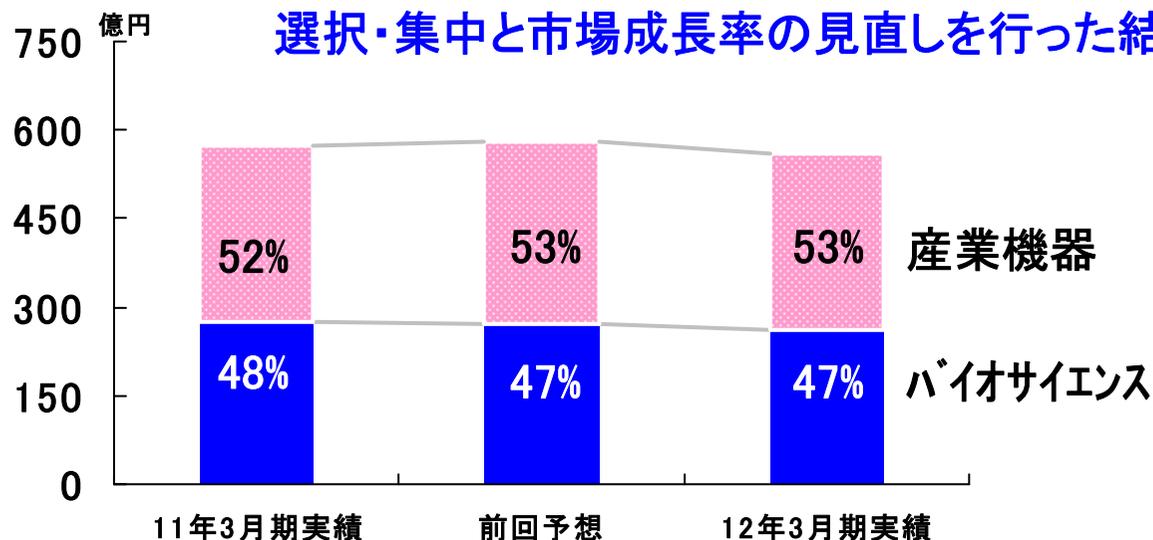
2012年3月期 インストルメンツカンパニー

株式会社ニコン
広報・IR部



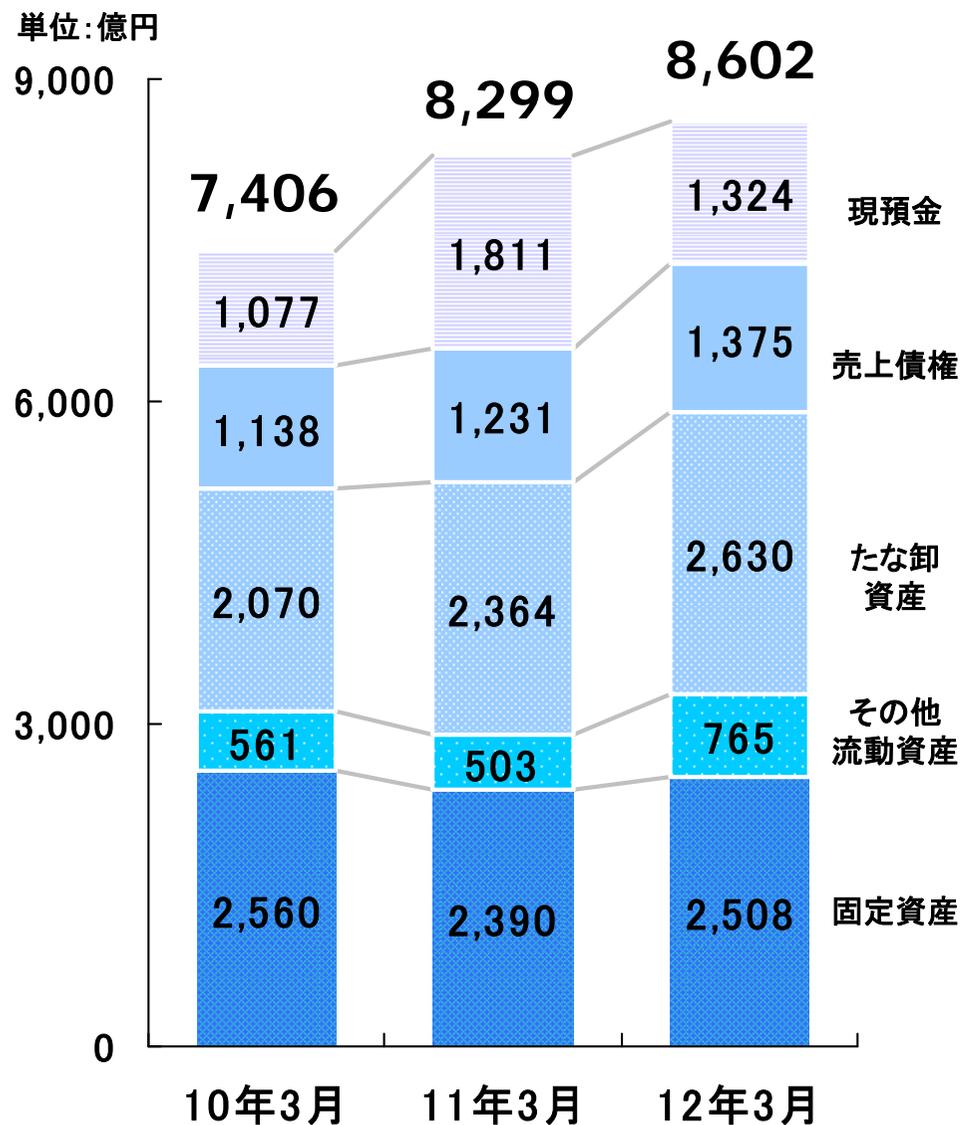
単位: 億円	11年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/3)	上期 下期	12年3月期 実績	上期 下期
売上高	575	$\frac{242}{333}$	580	$\frac{246}{334}$	560	$\frac{246}{314}$
営業利益 実績(参考:新方式) 売上高比	▲52 (▲38) —% (—%)	$\frac{▲41}{▲11}$ ($\frac{▲34}{▲4}$)	▲25 —%	$\frac{▲24}{▲1}$	▲32 —%	$\frac{▲24}{▲8}$

公共予算の延期や設備投資抑制の影響を受け、前年比微減収、営業赤字幅は縮小。Nikon Metrology社にかかわるのれんについて、製品の選択・集中と市場成長率の見直しを行った結果、65億円の減損を実施

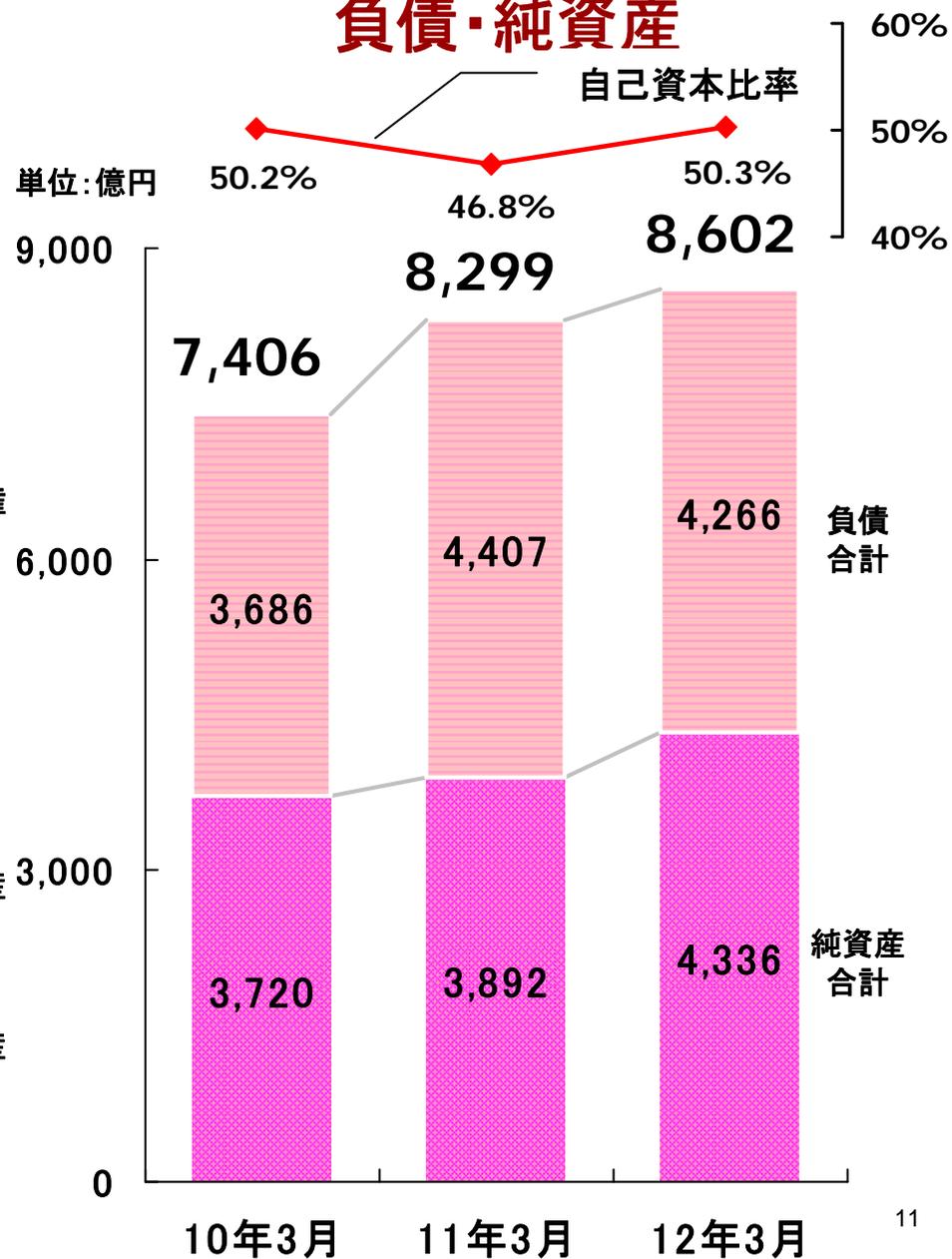


2012年3月期 B/S内訳

資産



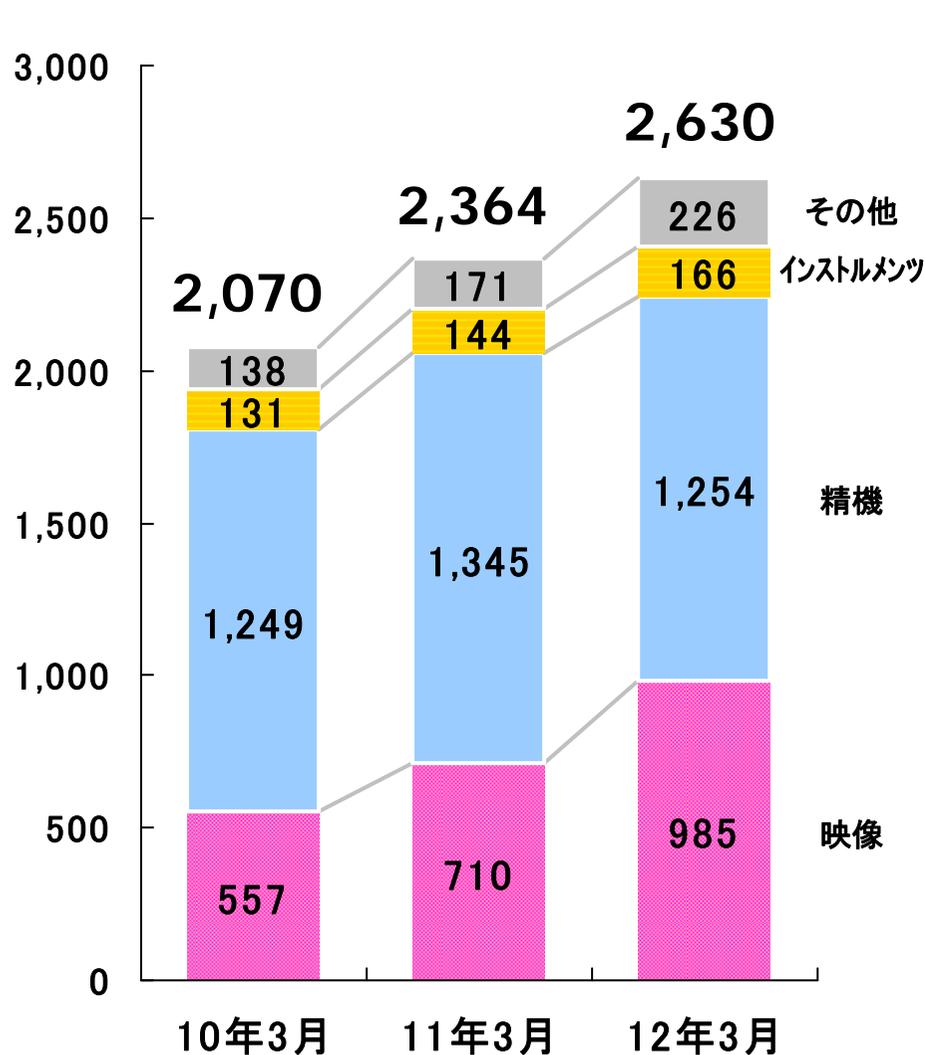
負債・純資産



2012年3月期 棚卸資産 現預金・有利子負債

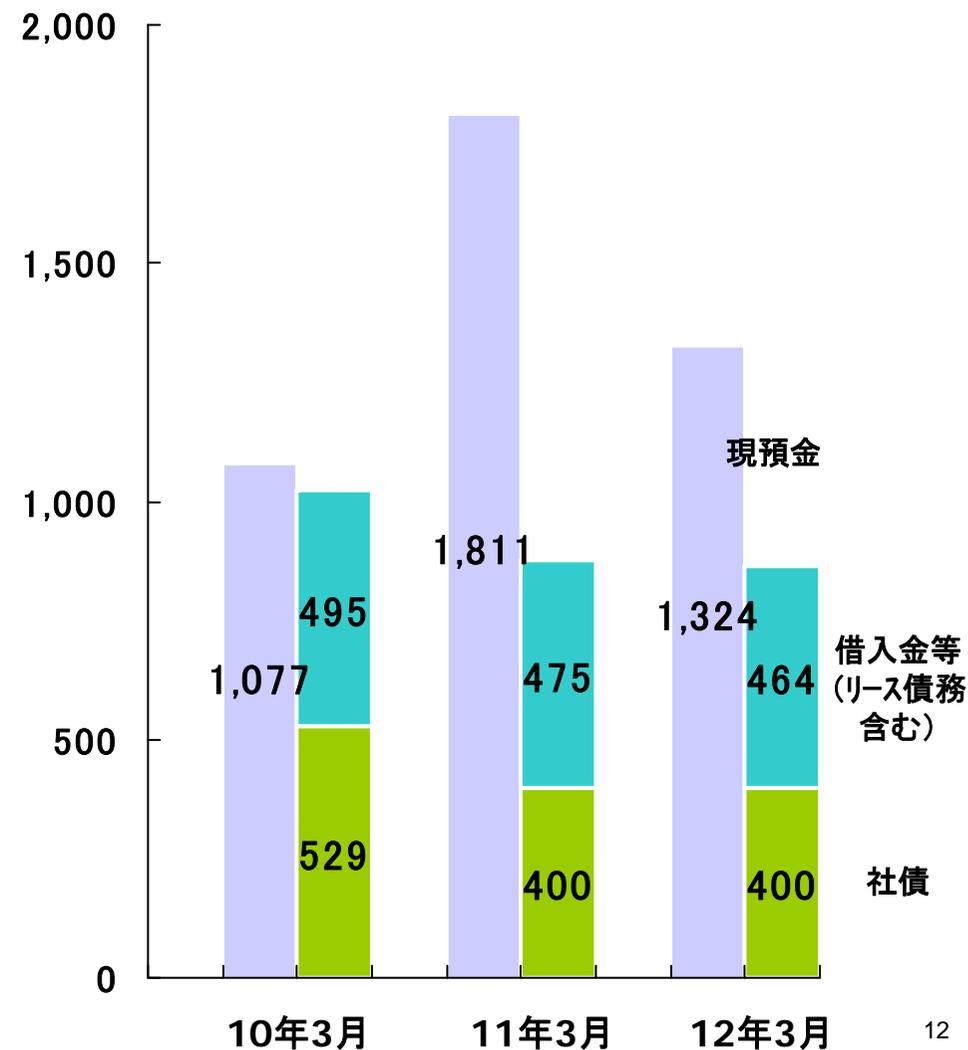
棚卸資産

単位: 億円



現預金・有利子負債

単位: 億円



Agenda

I . 2012年3月期の概況

II . 2013年3月期の見通し

III . 参考データ

2013年3月期 見通しポイント

株式会社ニコン
広報・IR部



◆**精機事業は露光装置市場縮小の影響を受けるが、映像事業はタイ洪水被害から復旧し、会社全体では増収、増益の計画**

【精機】

半導体・液晶露光装置ともに市場縮小の影響で販売台数は減少するが、半導体用の新製品が下期の収益を下支え。15%増収、42%増益の見通し

【映像】

一眼レフを本来の拡大基調に戻すとともに、Nikon 1とコンパクトタイプの拡販に注力。24%増収、48%増益の計画

【インストルメンツ】

アジア地域など新興国において、バイオ分野では一般向け研究・臨床用生物顕微鏡のシェア拡大を、産業分野では自動車産業など新たな需要の取り込みを図る。9%増収、赤字幅縮小の計画

◆**年間配当金は 41円(中間配当金 19円)を予定**

2013年3月期 見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期	前年実績比
売上高	9,187	$\frac{4,863}{4,324}$	10,300	$\frac{4,850}{5,450}$	+1,113
営業利益 売上高比	801 8.7%	$\frac{612}{189}$	900 8.7%	$\frac{350}{550}$	+99
経常利益 売上高比	894 9.7%	$\frac{652}{242}$	940 9.1%	$\frac{380}{560}$	+46
当期純利益 売上高比	593 6.5%	$\frac{504}{89}$	650 6.3%	$\frac{290}{360}$	+57
FCF	▲341		300		+641
為替: ドル	79円	$\frac{80円}{78円}$	80円		売上高への予想影響額 約▲23億円 営業利益への予想影響額 約▲54億円
ユーロ	109円	$\frac{114円}{104円}$	105円		

精機事業のマイナスを映像事業の回復でカバーし、前年比で1割以上の増収、1割以上の営業増益とする計画

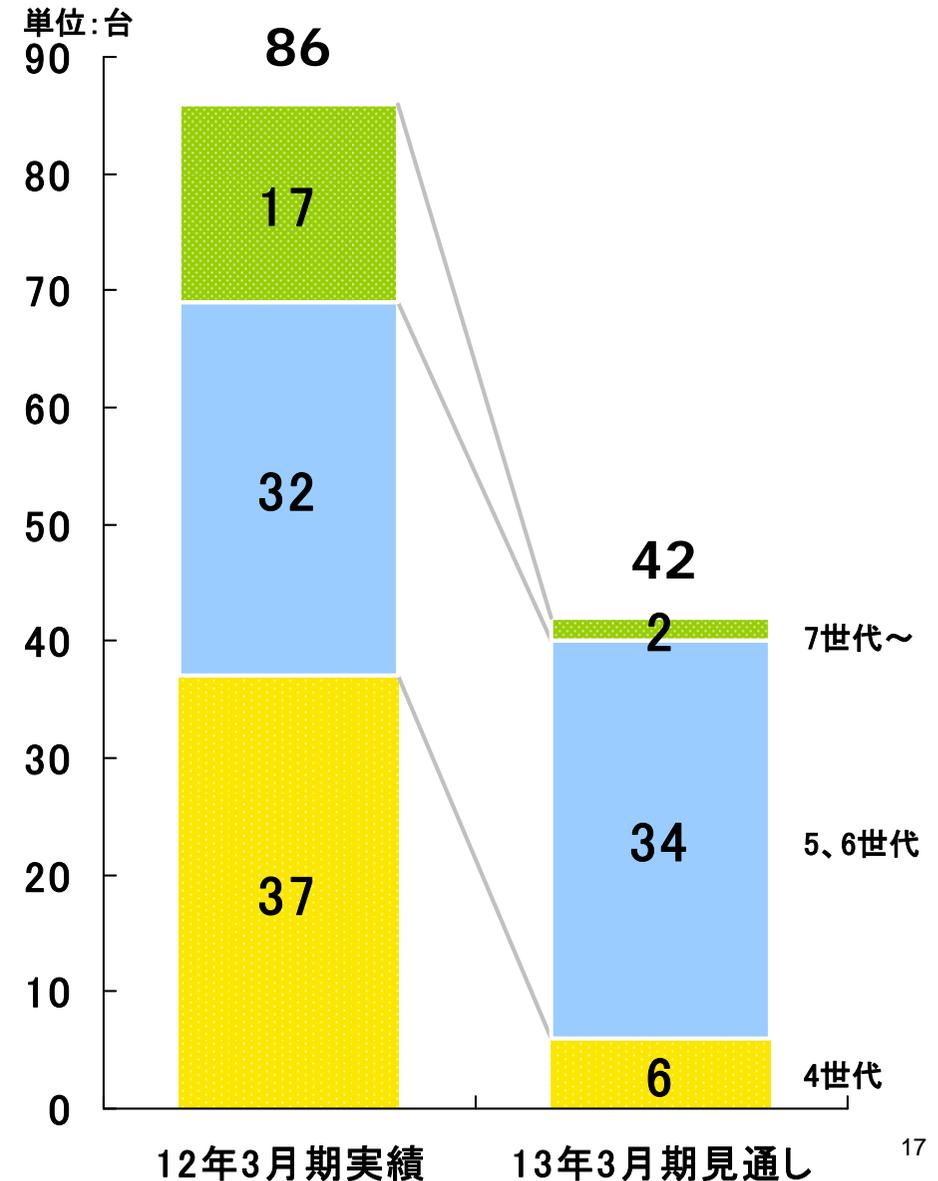
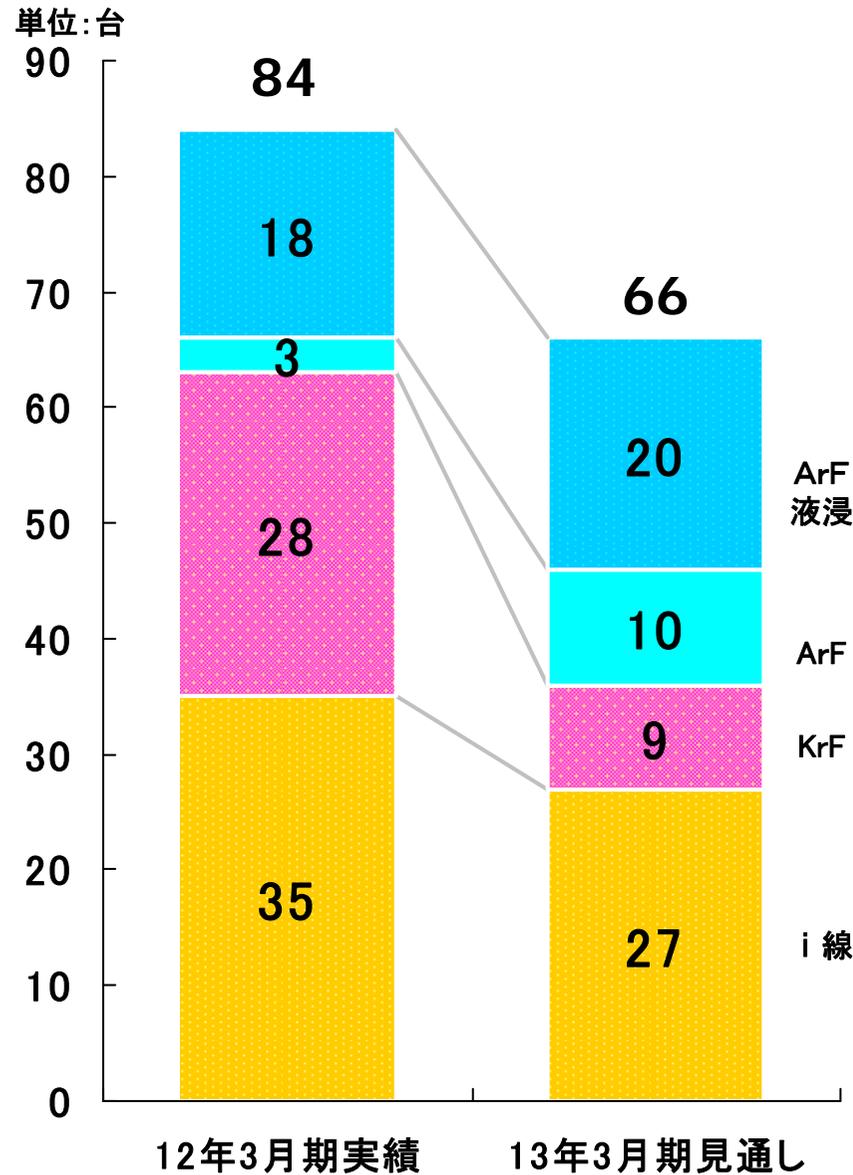
2013年3月期 見通し 精機カンパニー

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	2,481	$\frac{1,248}{1,233}$	2,100	$\frac{850}{1,250}$
営業利益 売上高比	427 17.2%	$\frac{233}{194}$	250 11.9%	$\frac{60}{190}$
半導体露光装置 新品/中古	55/29台	$\frac{26/16}{29/13}$	46/20台	$\frac{12/9}{34/11}$
液晶露光装置	86台	$\frac{48}{38}$	42台	$\frac{28}{14}$
半導体露光装置 市場規模 CY11/12	311台		240台程度	
液晶露光装置 市場規模 CY11/12	109台		60台程度	

半導体露光装置は、新製品ArF液浸スキャナー「S621D」とArFスキャナー「S320F」の販売が下期に本格化。 来期への拡大基調に繋げる。
液晶露光装置では、中小型高精細パネル向けに第5・6世代装置は堅調

2013年3月期 見通し 精機カンパニー

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数



2013年3月期 見通し 映像カンパニー

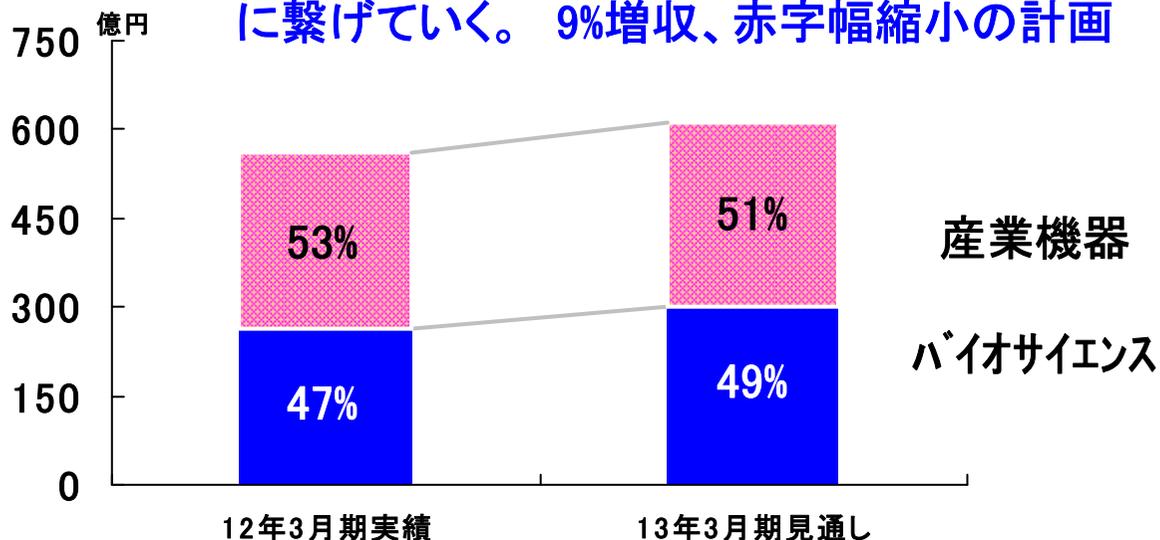
単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	5,871	$\frac{3,245}{2,626}$	7,300	$\frac{3,600}{3,700}$
営業利益 売上高比	540 9.2%	$\frac{474}{66}$	800 11.0%	$\frac{380}{420}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	474万台	$\frac{273}{201}$	700万台	$\frac{340}{360}$
交換レンズ	713万本	$\frac{393}{320}$	1,000万本	$\frac{490}{510}$
コンパクト デジタルカメラ	1,737万台	$\frac{786}{951}$	1,800万台	$\frac{840}{960}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,633万台		1,900万台	
交換レンズ 市場規模	2,641万本		3,100万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	9,933万台		9,500万台	

レンズ交換式カメラ市場は、ノンフレックスの市場拡大もあり、高成長が期待できる。
洪水による生産の制約がなくなり、前年比で大幅な増収・増益の計画

2013年3月期 見通し インstrumentカンパニー

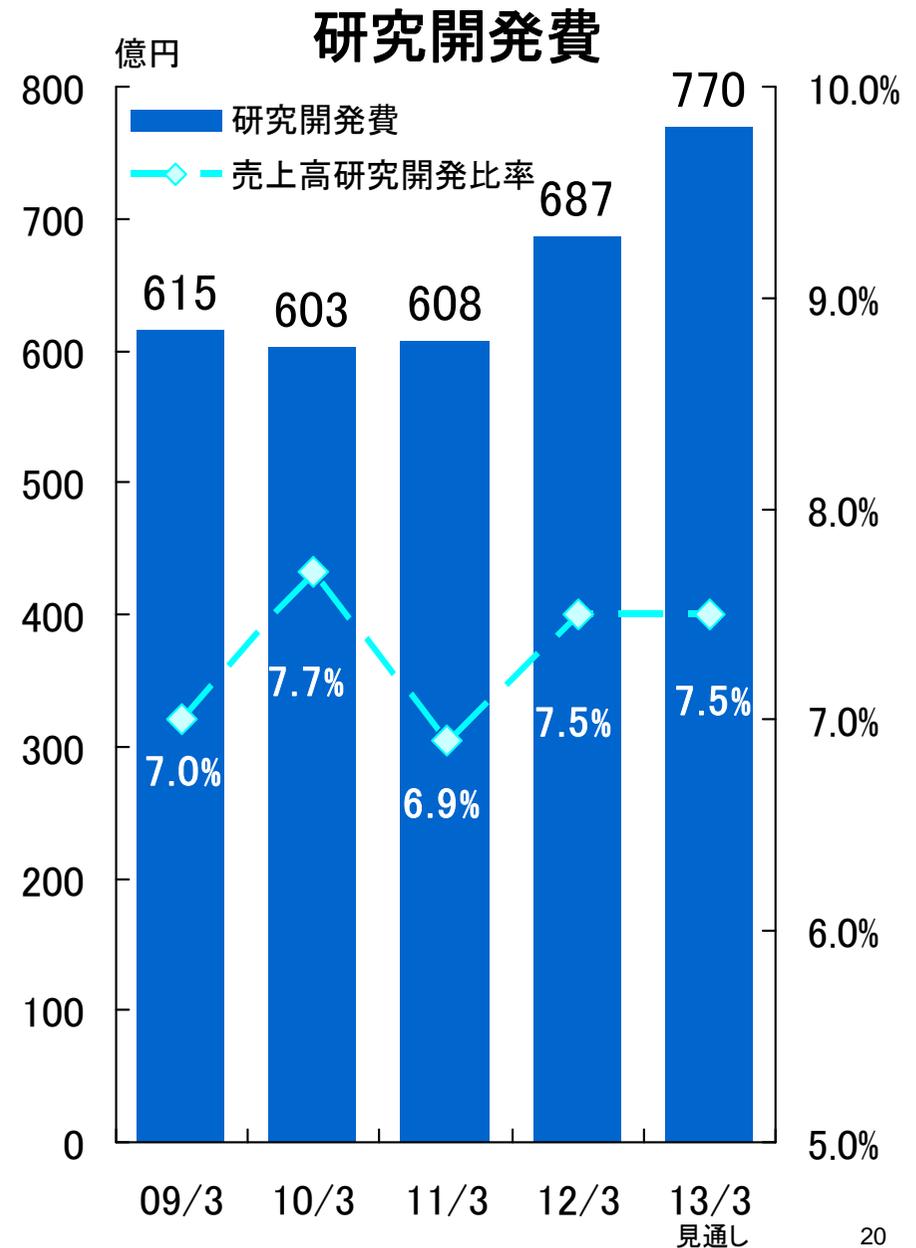
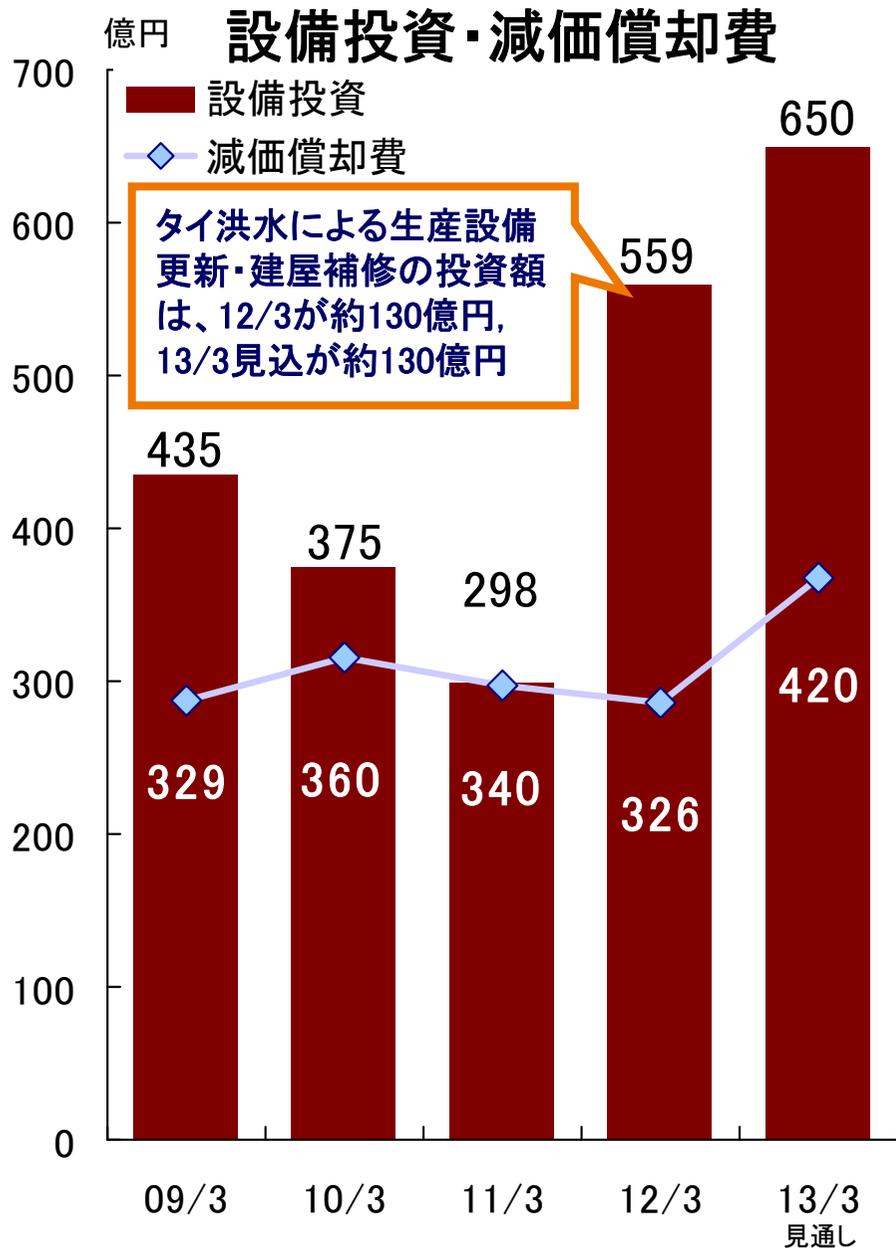
単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	13年3月期 見通し	上期 下期
売上高	560	$\frac{246}{314}$	610	$\frac{240}{370}$
営業利益 売上高比	▲32 -%	$\frac{▲24}{▲8}$	▲10 -%	$\frac{▲25}{15}$

Nikon Metrology社の非接触三次元測定機やX線検査装置などは、中期的な成長製品と位置づけており、今期に開発・拡販を推し進め、今後の収益拡大に繋げていく。9%増収、赤字幅縮小の計画



2013年3月期 見通し 設備投資・減価償却費 研究開発費

株式会社ニコン
広報・IR部



注) 09/3以降には、リース会計基準の変更に伴うリース資産の取得額を含む。

Agenda

I. 2012年3月期の概況

II. 2013年3月期の見通し

III. 参考データ

参考データ 為替の影響

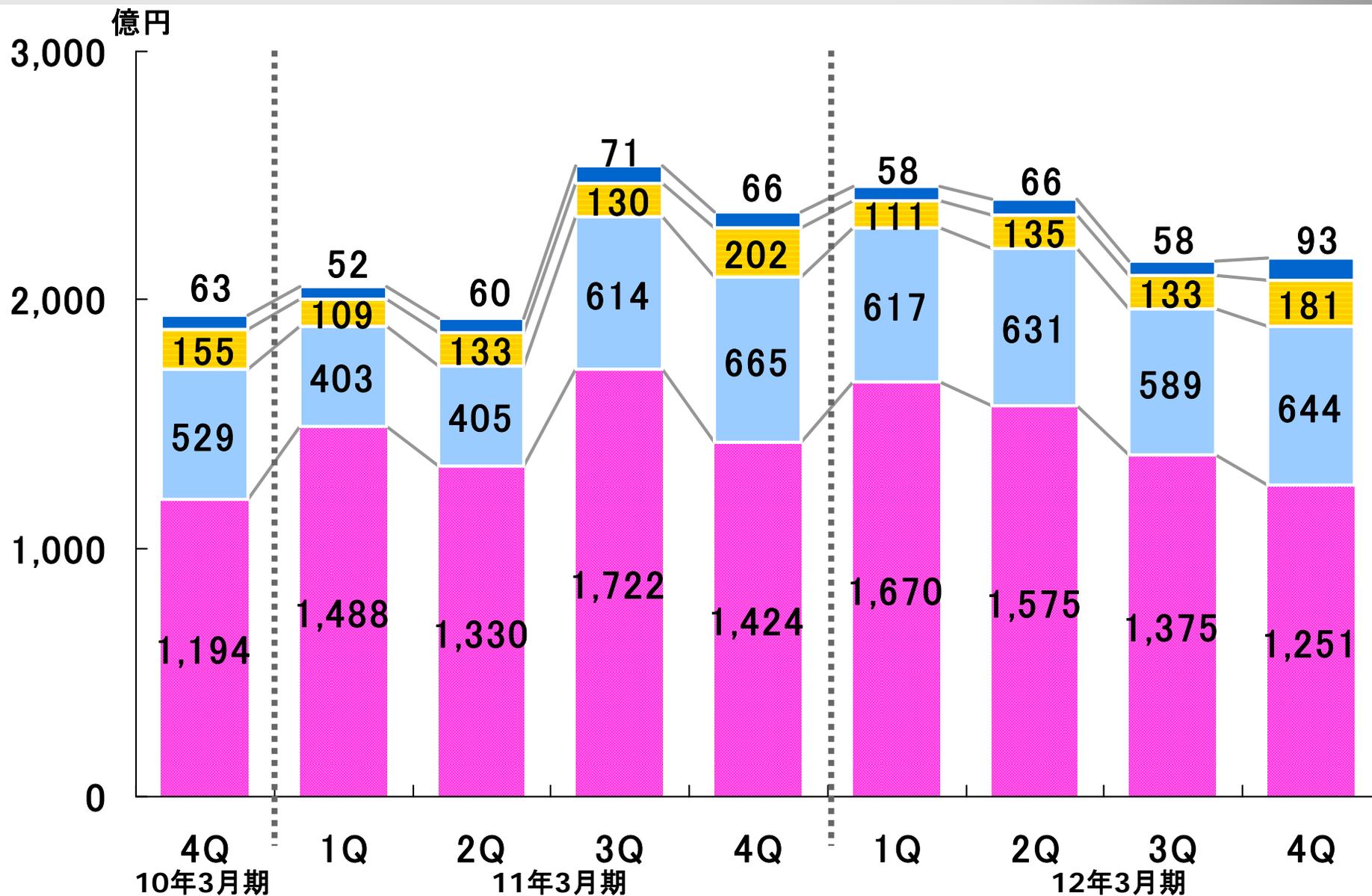
株式会社ニコン
広報・IR部



2013年3月期 見通し

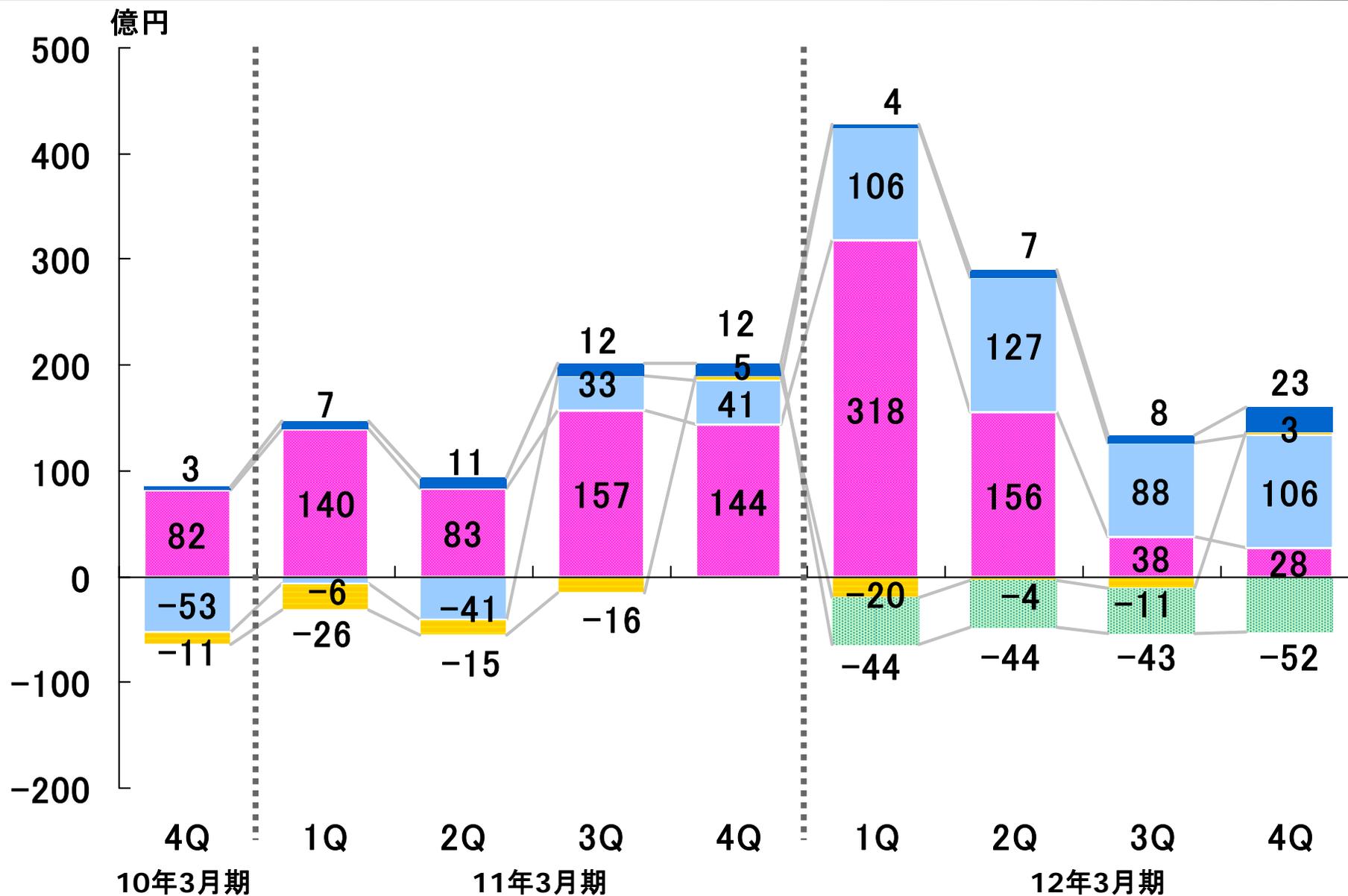
	為替レート	1円の変動による影響額	
	13年3月期 前提	売上高	営業利益
USDドル	80円	約 69億円	約 6億円
ユーロ	105円	約 23億円	約 15億円

参考データ 四半期セグメント別売上高推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業 ■ 全社費用



NIKON CORPORATION